ルーツは福岡　夢は世界へ

～未来につなごう　福岡の絆～

Our roots are in Fukuoka, Our dreams are worldwide

- Creating a shared future through our bonds with Fukuoka -

第8回
海外福岡県人会世界大会 報告書

8th
Worldwide Fukuoka Kenjinkai Convention Report

目　次

グラビア

スケジュール……1
到着風景……3
福岡県知事表敬……5
福岡県議会議長表敬……6
記念撮影・寄せ書き……7
記念式典……8
歓迎レセプション……10
慰霊碑参拝……15
記念植樹……17
お茶会……18
県人会青年の集い・県人会代表者会議……19
太宰府天満宮参拝……20
ふるさと巡り（福岡地区）……21
ふるさと巡り（北九州地区）……23
ふるさと巡り（筑豊地区）……25
ふるさと巡り（筑後地区）……27
ビジネスセミナー……29
企業視察……30
海外福岡県人会フェア……31
青少年セミナー……34
さよならパーティー……35
残日計除幕式……40
海外福岡県人会写真展……41
着物体験……43
世界の人気食フェア……44
学校訪問……45
太鼓交流（ブラジル・ミカ太鼓、博多おっしょい太鼓）……46
八女市訪問……47
みやこ町訪問……48

記　録

県人会青年の集い……49
県人会代表者会議……51
福岡宣言……54
写真展パネル集……55
新聞掲載記事……78
大会参加者名簿……89
実行委員会……98
協賛・後援……100

スケジュール

Schedule

平成２５年10月9日（水）～10月12日（土）

期日	時間	内容
10月9日	午後	知事表敬、議長表敬 記念撮影（西鉄グランドホテル）
	夕刻	記念式典（西鉄グランドホテル） 歓迎レセプション（西鉄グランドホテル）
10月10日	午前	慰霊碑参拝（平尾霊園） 記念植樹（大濠公園・日本庭園） 県人会青年の集い（西鉄グランドホテル）
	午後	昼食会（西鉄グランドホテル）
		県人会代表者会議（西鉄グランドホテル） 慰霊碑参拝（平尾霊園）及び太宰府視察 北米ビジネスセミナー（福岡アジアビジネスセンター）
10月11日	終日	ふるさと巡り県内４地区（福岡、北九州、筑豊、筑後） 企業視察（トヨタ自動車九州等県内企業）
	夕刻	南米・ブラジルセミナー（アクロス福岡） ビジネス交流会（アクロス福岡）
10月12日	終日	海外福岡県人会フェア／ふくおか町村フェア（天神中央公園） （～10月13日）
	午後	青少年セミナー（アクロス福岡）
	夕刻	さよならパーティー（ヒルトン福岡シーホーク）

海外福岡県人会写真展

平成２５年8月23日（金）～30日（金）・・・・・・・・・福岡県庁
平成２５年9月3日（火）～8日（日）・・・・・・・・九州国立博物館
平成２５年10月7日（月）～14日（月・祝）・・・・・・アクロス福岡
平成２５年10月8日（火）～13日（日）・・・・・・・・・九州芸文館

着物体験

平成２５年10月12日（土）・・・・・・・・・ヒルトン福岡シーホーク

世界の人気食フェア

平成２５年10月8日（火）～13日（日）・・・・・・・・・福岡三越

学校訪問

平成２５年10月10日（木）・・・・・・・・・福岡県立三池高等学校
・・・・・西日本短期大学附属高等学校

太鼓交流（ブラジル・ミカ太鼓、博多おっしょい太鼓）

平成２５年10月12日（土）・・・・・・・・・福岡市立博多中学校

八女市訪問

平成２５年10月11日（金）・・・・・・・・・・・・・・・・・八女市内

みやこ町訪問

平成２５年10月11日（金）～12日（土）・・・・・・・・・みやこ町内

到着風景

おかえりなさい
福岡県へ

福岡県知事表敬

2013年10月9日

福岡県庁

県庁へ到着

小川知事の歓迎挨拶

記念撮影

福岡県議会議長表敬

2013年10月9日

松尾議長の歓迎挨拶

議場見学

記念撮影

福岡県議会棟

記念撮影

2013年10月9日

第8回海外福岡県人会世界大会記念式典　記念撮影

寄せ書き

記念式典

2013年10月9日

場所：西鉄グランドホテル

開会宣言

実行委員会委員長
新宮松比古（公財）福岡県国際交流センター理事長

主催者挨拶

実行委員会会長
小川 洋 福岡県知事

実行委員会顧問
松尾統章 福岡県議会議長

海外県人会代表挨拶

宗 伸之 南加福岡県人会会長

祝　辞

ジョージ・アリヨシ 元ハワイ州知事

感謝状・記念品贈呈

県人会紹介

合唱披露：春日市立春日西小学校

合唱曲
- 春の小川
- 茶つみ
- 赤とんぼ
- 雪
- 秋祭り
- ふるさと

歓迎レセプション

2013年10月9日

場所：西鉄グランドホテル

鏡開き

乾　杯

実行委員会副会長
新村雅彦 福岡県議会前副議長

津留アントニオ アルゼンチン福岡県人会会長

芸能披露

博多民踊協会
そろばん踊り

古船場1・2丁目チーム　小倉祇園太鼓

博多民踊協会
炭坑節

博多民踊協会
博多どんたく囃子

博多祇園山笠振興会
祝いめでた

歓談風景

ロビー風景

日本茶試飲体験

各県人会のぼり旗

県内市町村・企業からの提供品

慰霊碑参拝

2013年10月10日

海外同胞長逝者招魂碑

福岡県知事祭詞代読

新宮松比古（公財）福岡県国際交流センター理事長

福岡県海外移住家族会祭詞

武藤英治 福岡県海外移住家族会会長

海外福岡県人会代表祭詞

熊谷 満 パラグアイ福岡県人会会長

場所：平尾霊園「特別区」海外同胞長逝者招魂碑

県人会代表者慰霊碑参拝記念写真

記念植樹

2013年10月10日

場所：大濠公園日本庭園

紅梅を植樹

日本庭園内を散策

お茶会

2013年10月10日

場所：大濠公園日本庭園茶会館

県人会青年の集い　2013年10月10日

場所：西鉄グランドホテル　プレジール

議長：稲田 明 アウミー氏
トメアスー福岡県人会

県人会代表者会議　2013年10月10日

場所：西鉄グランドホテル　プレジール

議長：玉井純夫氏
シアトル・タコマ福岡県人会会長

太宰府天満宮参拝　2013年10月10日、12日

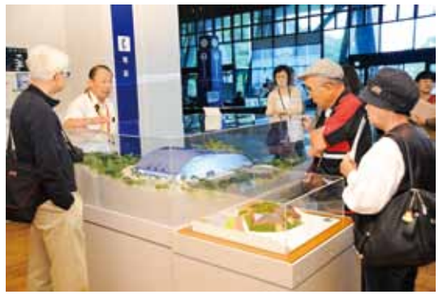
本殿参拝

御神酒をいただく

ふるさと巡り（福岡地区）

2013年10月11日

九州国立博物館→博多百年蔵→博多百年町家→東長寺→櫛田神社→
キャナルシティ博多



九州国立博物館

博多百年蔵

博多百年町家

東長寺

櫛田神社

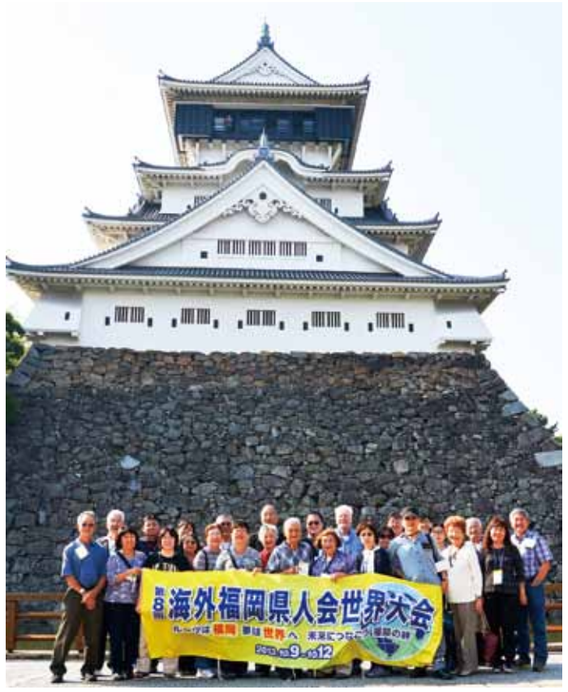
キャナルシティ博多

ふるさと巡り（北九州地区）

2013年10月11日

和布刈神社→海峡ドラマシップ→ブリリアンサ門司港→小倉城→皿倉山

和布刈神社



小倉城

小倉城庭園

海峡ドラマシップ

皿倉山帆柱ケーブル

ふるさと巡り（筑豊地区）

2013年10月11日

嘉穂劇場→田川市石炭・歴史博物館→川崎町→英彦山奉幣殿→歓遊舎ひこさん

嘉穂劇場

田川市石炭・歴史博物館

川崎町安宅交流センター

小田幸男 川崎町長と「小梅ちゃん」と記念撮影

英彦山奉幣殿

添田町の「ひこちゃん」「ゆずちゃん」と記念撮影

ふるさと巡り（筑後地区）

2013年10月11日

柳川川下り→御花→九州芸文館→城島酒蔵 花の露→地場産くるめ

柳川川下り

御花

金子健次
柳川市長と一緒に

馬場美雅さん（八女市観光大使）と
藤間佳福さん

九州芸文館

炭坑節

城島酒蔵
花の露

地場産くるめ

ビジネスセミナー

2013年10月10日

北米セミナー

場　所：福岡アジアビジネスセンター
テーマ：「米国で起業し成功する方法」
堀 隆幸氏
（米国弁護士・公認会計士、
南加福岡県人会）

2013年10月11日

南米・ブラジルセミナー、交流会

場　所：アクロス福岡　大会議室
テーマ：
（1）「ラテンアメリカ経済の今」
講師：内尾雄介氏（独立行政法人日本貿易振興機構　海外調査部　中南米課長）
（2）「居酒屋店主が見たブラジルの魅力」
講師：関 一優氏（株式会社一優亭　代表取締役）
（3）「ブラジルに新幹線が走る日～ブラジルで地デジ日本方式が採用されたわけ～」
講師：河野賢二氏（ブラジル在住コンサルタント　大牟田市出身）

内尾雄介氏

関 一優氏

河野賢二氏

企業視察

2013年10月11日

TOTO 歴史資料館→トヨタ自動車九州→柳橋連合市場→キャナルシティ博多

TOTO 歴史資料館

トヨタ自動車九州

柳橋連合市場

キャナルシティ博多

海外福岡県人会フェア

2013年10月12日～13日

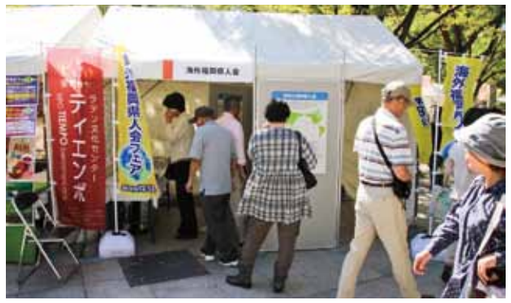
場所：天神中央公園

※ふくおか町村フェアとの同時開催

サンバ（ジンガブラジル）

フラダンス
（筑紫女学園高等学校「Mino'aka　CJ ガールズ」）

アルゼンチンタンゴ、ラテンダンス、ギター（ティエンポ・イベロアメリカーノ）



移住の歴史や各県人会の紹介

ブラジル料理：リオデジャネイロ

ブラジル料理：ドイスラゴス

中南米食品：キョウダイ社

中南米料理：サンチョパンサ

カナダ物産：平田産業、アカナファミリージャパン

米国州政府観光局

米国料理：ジェリーズポップコーン

米国料理：サンハウスハンバーガー

青少年セミナー

2013年10月12日

場所：アクロス福岡「こくさいひろば」

テーマ：「あのハリウッドが認めた男に聞く　世界に認められるということ」
講　師：AKIHITO 氏（池田朗人）（特殊メークアップアーティスト、南加福岡県人会）
インタビュアー：小柳俊郎氏（福岡県「アジアンビート」オーガナイザー）
※アジアンビート・ヂカギキとの連携事業　asianbeat http://asianbeat.com

AKIHITO 氏

参加者に施された特殊メークアップ

さよならパーティー

2013年10月12日

場所：ヒルトン福岡シーホーク

主催者挨拶

実行委員会会長
小川 洋 福岡県知事

実行委員会顧問
松尾統章 福岡県議会議長

県人会代表挨拶

梅林富士夫
ソウル博多会会長

福岡宣言発表

玉井純夫
シアトル・タコマ福岡県人会会長

次回開催地会長挨拶

平田フランシスコ
メキシコ福岡県人会会長

乾　杯

実行委員会委員長
新宮松比古（公財）福岡県国際交流センター理事長

石井素直
サンフランシスコ福岡県人会会長

芸能披露

ミカ太鼓（ブラジル）による和太鼓の演奏

ブラジル福岡県人会
中村 勲さん

ブラジル福岡県人会
梶本茂雄さん

バンクーバー福岡県人会
ゴード・フレデリコさん

メキシコ福岡県人会
吉開順一さん、佳道さん

シアトル・タコマ福岡県人会
ティーセン信子さん

アロハソング
ハワイ福岡県人会
ハワイ島福岡県人会
カウアイ福岡県人会
コナ福岡県人会

正調炭坑節保存会

炭坑節総踊り

参加者へのお土産
（市町村・企業からの提供品）

ふるさと合唱

万歳三唱

長 裕海 福岡県議会副議長

閉会の挨拶

海老井悦子 福岡県副知事

残日計除幕式

2013年9月9日

場所：福岡県庁

小川 洋　　福岡県知事
松尾統章　　福岡県議会議長
新宮松比古　（公財）福岡県国際交流センター理事長
長尾亜夫　　福岡日米協会会長

海外福岡県人会写真展

2013年8月23日～30日

県庁ロビー

福岡県庁

2013年9月3日～8日

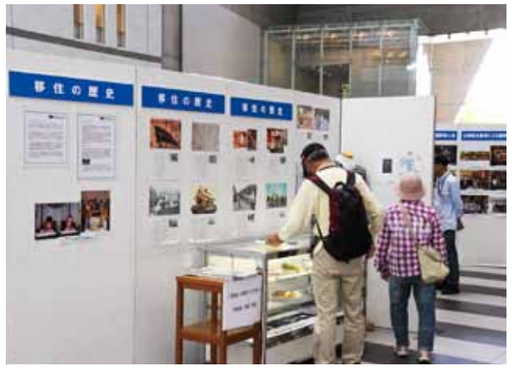
九州国立博物館

九州国立博物館

2013年10月7日～14日

アクロス福岡

アクロス福岡
(C)ACROS FUKUOKA



2013年10月8日～13日

九州芸文館

九州芸文館

着物体験　2013年10月12日

場所：ヒルトン福岡シーホーク

世界の人気食フェア　2013年10月8日～13日

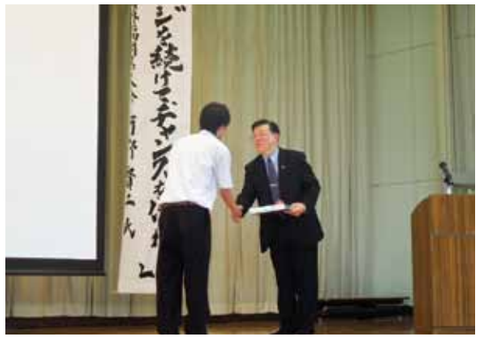
場所：福岡三越

学校訪問

2013年10月10日

テーマ:「チャレンジを続けて、チャンスを作れ!」
講　師:河野賢二氏(ブラジル在住コンサルタント　大牟田市出身)

福岡県立三池高等学校(大牟田市)



西日本短期大学附属高等学校(八女市)

太鼓交流(ブラジル・ミカ太鼓 博多おっしょい太鼓)

2013年10月12日

場所:福岡市立博多中学校

挨　拶

ミカ太鼓挨拶

博多
おっしょい太鼓
挨拶

交　流

八女市訪問

2013年10月11日

八女市役所→八女伝統工芸館→べんがら村→八女市内散策→夕食会

八女市役所

八女伝統工芸館：手すき和紙体験

べんがら村にて昼食

八女市内散策

三田村統之 八女市長と一緒に

みやこ町訪問

2013年10月11日、12日

井上幸春 みやこ町長と一緒に

みやこ町立伊良原小学校訪問

みやこ町役場の方と一緒に

県人会青年の集い

日　時：2013年10月10日（木）10：00～11：30
場　所：西鉄グランドホテル　プレジール
出席者：各海外県人会青年代表　14県人会　19名
議　長：トメアスー福岡県人会　稲田 明 アウミー氏

議題（主な意見）

1 青年部の活動報告

2 福岡県との交流事業について

○子弟招へい事業は、子ども達にとって日本・福岡の文化を学ぶ機会であり、非常に有意義である。福岡に対して強い興味を持ち、県人会の会議に参加するようになったり、日本語の勉強を始めたり、将来、福岡への留学を目指す子どもも増えている。

○県費留学生として福岡県に来ることにより、福岡の友達ができ、同時に様々な国の留学生と友達になり、国際交流を深めることができる。

○自分自身のルーツを知る喜びは大きい。子弟招へい事業と併せて事業の継続を強く望む。

○県人会子弟の日本語レベルが課題となる中で、県人会の中でもっと積極的に日本語の大切さ、ルーツである福岡を大切に思う気持ちを伝えるべきである。

3 ネットワークの強化について

○福岡県の青年が県人会を訪問するプログラムを始めて欲しい。福岡県のことを知り福岡県と自分の国をつなげる活動を始めるきっかけとなる。日本祭の時期などの県人会の行事に合わせて来てもらうと県人会の雰囲気を見せることができ相互理解が深まる。

○子弟招へい事業に参加した子どもの保護者で同窓会を作るという動きも出てきている。Facebook などを使って、参加した人たちのネットワークを作ると将来相互に訪問する関係ができるのではないかと思う。

○県人会において、ビジネスで成功した方などを招いての催しものを始めている。ビジネスに関する情報交換やインターンシップ・技術の習得を目指した留学生制度などを考慮していただくと大変嬉しい。

○県人会の中でも子ども達のルーツ、福岡のことを積極的に伝えて、これからの将来のリーダーたちを育てることが大事ではないかと思う。今日、我々がこの青年の集いに座っている意味は大きい。帰ったら熱い気持ちを子ども達や青年に伝えるべきだと思う。

県人会青年の集い出席者名簿

県人会名	名　前	
アルゼンチン	髙嶋　アレハンドロ　アグスティン	Takashima Alejandro Agustin
在ボリビア	川波　尚	Kawanami Nao
ブラジル	梶本　アンジェリカ　薫	Kajimoto Angelica Kaoru
	梶本　デニーゼ　さくら	Kajimoto Denise Sakura
	南　ビビアン　千秋	Minami Vivian Tiaki
トメアスー	稲田　明　アウミー	Inada Akira Almir
トロント	福間　美香	Fukuma Mika
	冨永　花	Tominaga Hana
バンクーバー	名久井　彩伽	Nakui Ayaka
メキシコ	寺本　英樹	Teramoto Hideki
	吉開　佳道	Yoshikai Yoshimichi
	吉開　順一	Yoshikai Junichi
パラグアイ	熊谷　奈美	Kumagai Nami
ペルー	樋口　ジュリアナ	Higuchi Giuliana
ハワイ	作田　キース	Sakuda Keith
ハワイ島	イワサキ　ケリー　カオリ	Iwasaki Kellie Kaori
コナ	イワモト　プリーザンス　アケミ	Iwamoto Pleasence Akemi
南加	大塚　佳之介	Otsuka Keinosuke
サンフランシスコ	坂田　亜紀	Sakata Aki

県人会代表者会議

日　時：２０１３年10月10日（木）　１４：００～１６：００
場　所：西鉄グランドホテル　プレジール
出席者：各海外県人会代表　２６県人会　３２名
議　長：玉井純夫　シアトル・タコマ福岡県人会会長

議題（主な意見）

１ 県人会の活動報告

２ 青年の集い報告「青年の集い」議長　稲田 明 アウミー氏（トメアスー福岡県人会）

まず、子弟招へい事業、県費留学生プログラムについて、このような意義深いプログラムを実施していただける福岡県知事に心から感謝を申し上げたいと思う。

私は、２００９年に県費留学生として初めて日本に来た。それは、子どもの頃からずっと私の夢だった。いつか、日本、この福岡に来たいという強い気持ちがあった。日本で見た初めての景色に、「ただいま」という言葉が自然に出た。なぜなら、うちのおじいちゃんが、日本を出て３か月間以上船に乗りブラジルまで移動して、アマゾンのジャングルのところまでたどりついて、お風呂なし、おいしいお米なし、ゼロから森を伐採して始めた。家族をがんばって育て、私がやっと日本に来ることができた。福岡に来て、僕の歴史が始まったルーツということを強く感じた。この経験、この感じを、将来絶対つなげないといけないと思う。絶対に僕で終わってはいけない。将来の子ども達、将来の若者達も、日本のこと、福岡のことをもっと知ってほしい。青年の集いでは、私だけではなく、みんながそういう気持ちなのだと感じた。

さらに県費留学生は、各県人会に戻って、この1年間のことを活かして、会長達の右腕になり、将来はバトンを受取って走るべきだと思う。大先輩と会場の皆様に心から感謝する。私達がここにいるのは、皆様の協力と夢だと思う。

３ 福岡県と海外福岡県人会のネットワーク強化について

○移住県人会には１００年以上の歴史があるところがたくさんあり、多くの県人会では世代交代が進んでいる。活動の中心は二世、三世、四世に移りつつあり、日本語や日本の文化を知らない世代が増えている。子弟招へい事業や県費留学生事業は、福岡県と県人会を繋ぐ青少年の育成に非常に有意義であり、是非続けていただきたい。一方、県人会の中でも、子弟招へい事業や県費留学生の参加者が自主的に県人会に参加し、活動できるような仕組みづくりを考えていくべきである。

○福岡県から青少年を県人会へ派遣していただければ、より多くの県人会の若者が福岡県を理解する機会になる。福岡県の若者と交流したことをきっかけに県人会活動を始めた者や会長になった者もいる。福岡県の若者の育成にも貢献でき、双方にとって有意義だと考える。

○県と県人会がタイアップしてビジネスセミナーをやりたいと思っている。県と県人会双方に役に立つと思う。

○駐在員等による県人会としても、このような世界大会に声をかけていただき、大変光栄に思っている。青年の代表の話を聞いて感動した。これからも色々な形で情報を共有していただきたい。また、県人会は様々な職種の人の集まりである。県の事業があるときは、声をかけていただければ全力でお役に立ちたいと思っている。

○福岡県からタイムリーな情報をいただけると県人会の会員にもっと福岡県への興味を持ってもらえると思う。

４ 次回開催地

○メキシコから立候補があり、満場一致で決定

県人会代表者会議出席者名簿

県人会名	氏　名		役　職
アルゼンチン福岡県人会	津留　アントニオ	Tsuru Antonio	会長
	荒瀬　猪三男	Arase Isao	
在ボリビア福岡県人会	松本　宏治	Matsumoto Koji	会長
ベレン福岡県人会	小野　重善	Ono Shigeyoshi	会長
ブラジル福岡県人会	南　アゴスチンニョ　俊男	Minami Agostinho Toshio	会長
トメアスー福岡県人会	加藤　広行	Kato Hiroyuki	会長
	稲田　明　アウミー	Inada Akira Almir	
トロント福岡県人会	冨永　季徳	Tominaga Suenori	会長
バンクーバー福岡県人会	ゴード フレデリコ	Gordo Frederico	会長代理
香港福岡県人会	清水　円輝	Shimizu Enki	会長
在上海福岡県人会	谷本　武司	Tanimoto Takeji	会長
コロンビア福岡県人会	坂本　昌子	Sakamoto Masako	会長
デリー福岡県人会	廣政　俊一郎	Hiromasa Shunichiro	会長
在マレーシア福岡県人会	藤木　正聰	Fujiki Masatoshi	会長
メキシコ福岡県人会	平田　フランシスコ	Hirata Francisco	会長
	飯田　利明	Iida Toshiaki	相談役
パラグアイ福岡県人会	熊谷　満	Kumagai Mitsuru	会長
ペルー福岡クラブ	ヒラカワ　カツミ	Hirakawa Katsumi	会長代理
	ヒラカワ　ケイコ	Hirakawa Keiko	
ソウル博多会	梅林　富士夫	Umebayashi Fujio	会長
台湾福岡県人会「梅友会」	吉岡　生信	Yoshioka Ikunobu	代表世話役
タイ国福岡県人会	岡本　貞明	Okamoto Sadaaki	会長
ハワイ福岡県人会	セキヤ　レイモンド	Sekiya Raymond	会長
ハワイ島福岡県人会	クック　ヴォーン	Cook Vaughn	会長
	能丸　淳一	Noumaru Junichi	理事
カウアイ福岡県人会	イノウエ　ノーマン	Inoue Norman	会長
コナ福岡県人会	シロタ　スーザン　ウタコ	Shirota Susan Utako	会長代理
南加福岡県人会	宗　伸之	Soh Nobuyuki	会長
	大塚　佳之介	Otsuka Keinosuke	青壮年会会長
サンフランシスコ福岡県人会	石井　素直	Ishii Sunao	会長
シアトル・タコマ福岡県人会	玉井　純夫	Tamai Sumio	会長
ハノイばってん会	簑田　武	Minoda Takeshi	会長代理

福岡宣言

「ルーツは福岡　夢は世界へ　未来につなごう　福岡の絆」をキャッチフレーズに第８回海外福岡県人会世界大会が１２年ぶりにふるさと福岡県で開催されました。

今回の大会は、福岡県出身の移住者による県人会に加え、企業の海外駐在員を中心とした県人会も参加し、まさに名実ともに世界各地の海外福岡県人会が集まる大会となりました。

ふるさとを遠く離れて海外で暮らす私たちにとって、福岡県への愛着は深く、家族のように結ばれている県人会は大きな心の支えとなっています。

移住者子弟留学生事業や子弟招へい事業は、県人会の次代の活動の担い手である青少年の育成に大きく貢献しています。この素晴らしいプログラムに深く感謝するとともに、県人会としても福岡県から青少年を受け入れるなどの相互交流が重要であると認識しています。

今回の世界大会を通じて、県民の皆さんとふれあい、ふるさとの温かさ、つながりの深さに心から感銘を受けました。グローバル化が進展する国際社会の中で、同じふるさとを持つ仲間と手を携え、福岡県と様々な分野での絆を大切にすることを確認し、次のことを宣言します。

１　県人会のみならず福岡県の青少年育成のための相互交流を進めます。

２　福岡県と海外県人会、海外県人会相互の幅広い分野における交流を推進するため、ネットワークの拡大・強化に努めます。

３　２０１６年の第９回海外福岡県人会世界大会をメキシコで開催します。

２０１３年１０月１２日

第８回海外福岡県人会世界大会
海外福岡県人会参加者一同

写真展パネル集

海外の福岡県人会

海外には、福岡県出身の移住者で組織される北米・中南米の県人会や、企業の海外駐在員等で組織されるアジア・欧州の県人会など、37の福岡県人会があります。

海外の福岡県人会

番号	地域	県人会名
1	北米	バンクーバー福岡県人会
2		レスブリッジ福岡県人会
3		トロント福岡県人会
4		シアトル・タコマ福岡県人会
5		湾東福岡県人会（オークランド）
6		サンフランシスコ福岡県人会
7		南加福岡県人会（ロサンゼルス）
8		カウアイ福岡県人会
9		ハワイ福岡県人会
10		コナ福岡県人会
11		ハワイ島福岡県人会
12	中南米	メキシコ福岡県人会
13		コロンビア福岡県人会
14		ペルー福岡クラブ
15		ブラジル福岡県人会
16		マナウス福岡県人会（ブラジル）
17		ベレン福岡県人会（ブラジル）
18		トメアスー福岡県人会（ブラジル）
19		在ボリビア福岡県人会
20		パラグアイ福岡県人会
21		アルゼンチン福岡県人会

番号	地域	県人会名
22	アジア	ソウル博多会
23		大連福岡県人会
24		在上海福岡県人会
25		香港福岡県人会
26		台湾福岡県人会「梅友会」
27		ハノイぱってん会
28		在ホーチミン福岡県人会
29		タイ国福岡県人会
30		在マレーシア福岡県人会
31		シンガポール福岡県企業会
32		インドネシア福岡県人会「飛び梅会」
33		デンパサール福岡会
34		デリー福岡県人会
35	欧州	英国福岡県人会
36		オランダ福岡県人会
37		フランス福岡県人会

（公財）福岡県国際交流センター調べ

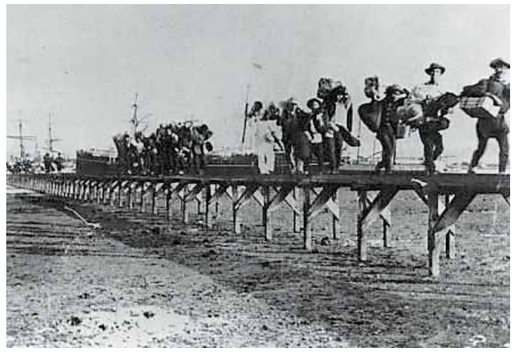
移住の歴史

福岡県からの最初の海外移住は、今から120年以上も前の1885年（明治18年）に、ハワイへ129名が移住したことに始まります。

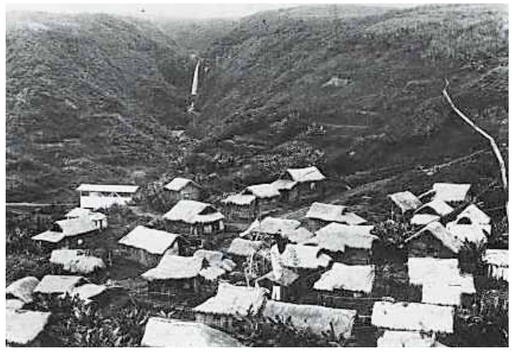
1900年代に入ると、移住先はハワイから米国本土やカナダ、メキシコに広がり、さらに、ペルー、ブラジルなどの南米に移りました。

戦後には、ブラジルのアマゾン河流域、パラグアイ、ボリビアなどへの移住が始まりました。

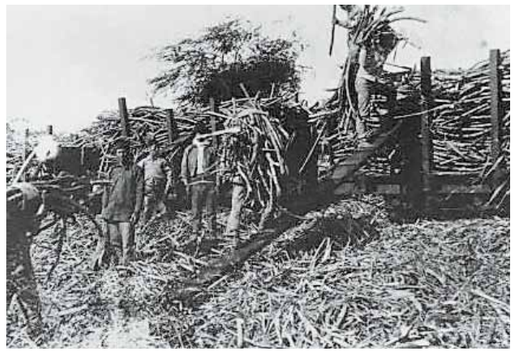
福岡県からの移住者の人数は、全国で4番目に多く、約5万6千人に達しています。



ハワイ，ホノルルに到着した日本からの移住者



ハワイ，ヒロ郊外のプランテーション村落



ハワイ，1890 年代頃のサトウキビの収穫

ハワイ，サトウキビ畑で働く日本人

移 住 の 歴 史

ブラジル，サンパウロ州（1920 年代頃）
自分達の土地を自力で耕そうとする移住者

ブラジル，パラナ州（1930 年代頃）
収穫されたコーヒー豆を振るいかけする農夫

ブラジル，サンパウロ州（1936 年）
ベラクルス市の日本人小学校

ブラジル，サンパウロ州（1940 年代頃）
手作業によるコーヒー豆の穫り入れ

移住者による福岡県人会

移住された人々は、言葉はもとより気候、風土など全く異なる環境の中で大変な苦労をしながら、移住国の発展に大きく貢献してきました。

現在では、政治、経済、教育、文化、医療など様々な分野で活躍され、それぞれの国において尊敬と信頼を得る存在となっています。

同時に、ふるさと福岡への深い愛着を抱き、各地で福岡県人会を設立し、福岡県人であることの誇りを持ち続けてきました。

現在、海外福岡県人会は、福岡・日本と移住国をつなぐ懸け橋として、貴重な財産となっています。

福岡県では、県人会との相互交流の促進や県人会の後継者育成の支援を目的とした事業を行い、海外福岡県人会の発展とさらなるネットワークの強化を目指しています。

バンクーバー福岡県人会
（設立：1978 年　　会員数：95 名）

レスブリッジ福岡県人会
（設立：1981 年　　会員数：46 名）

トロント福岡県人会
（設立：1980 年　　会員数：147 名）

シアトル・タコマ福岡県人会
（設立：1907 年　　会員数：91 名）

移住者による福岡県人会

湾東福岡県人会（オークランド）
（設立：1907 年　　会員数：38 名）

サンフランシスコ福岡県人会
（設立：1950 年　　会員数：222 名）

南加福岡県人会（ロサンゼルス）
（設立：1908 年　　会員数：560 名）

カウアイ福岡県人会
（設立：1985 年　　会員数：40 名）

ハワイ福岡県人会
（設立：1957 年　　会員数：152 名）

コナ福岡県人会
（設立：1967 年　　会員数：124 名）

移住者による福岡県人会

ハワイ島福岡県人会
（設立：1967 年　　会員数：165 名）

メキシコ福岡県人会
（設立：1952 年　　会員数：142 名）

コロンビア福岡県人会
（設立：1978 年　　会員数：129 名）

ペルー福岡クラブ
（設立：1959 年　　会員数：600 名）

ブラジル福岡県人会
（設立：1930 年　　会員数：977 名）

マナウス福岡県人会（ブラジル）
（設立：1959 年　　会員数：102 名）

移住者による福岡県人会

ベレン福岡県人会（ブラジル）
（設立：1969 年　　会員数：60 名）

トメアスー福岡県人会（ブラジル）
（設立：1975 年　　会員数：16 名）

在ボリビア福岡県人会
（設立：1973 年　　会員数：36 名）

パラグアイ福岡県人会
（設立：1958 年　　会員数：220 名）

アルゼンチン福岡県人会
（設立：1965 年　　会員数：110 名）

企業駐在員等による福岡県人会

グローバル化の進展により、企業等の海外進出が増加する中、福岡県出身の駐在員等が現地で親睦や交流を深めるために、福岡県人会を結成して活動するケースも出てきました。

アジアや欧州で最近増えてきている福岡県人会の存在は、福岡県人が世界各地で活躍していることを示すものとも言えます。

ソウル博多会
（設立：1990 年　　会員数：115 名）

大連福岡県人会
（設立：1998 年　　会員数：106 名）

在上海福岡県人会
（設立：1996 年　　会員数：573 名）

香港福岡県人会
（設立：1977 年　　会員数：120 名）

企業駐在員等による福岡県人会

台湾福岡県人会「梅友会」
（設立：2002 年　　会員数：44 名）

ハノイばってん会
（設立：2012 年　　会員数：約 70 名）

在ホーチミン福岡県人会
（設立：2003 年　　会員数：100 名）

タイ国福岡県人会
（設立：1992 年）

在マレーシア福岡県人会

シンガポール福岡県企業会
（設立：1996 年　　会員数：12 社、賛助会員 4 名）

企業駐在員等による福岡県人会

インドネシア福岡県人会「飛び梅会」
（設立：1999 年　　会員数：163 名）

デンパサール福岡会

デリー福岡県人会
（設立：2009 年　　会員数：40 名）

英国福岡県人会
（設立：1980 年　会員数：約 80 名）

オランダ福岡県人会
（設立：2006 年　　会員数：20 名）

フランス福岡県人会
（設立：1999 年　会員数：35 名）

移住者子弟留学生（県費留学生）

福岡県から海外に移住された県人会会員の子弟を、留学生として1年間受け入れ、県内の大学や専門学校等で専門知識や技能を修得すると同時に、福岡県の伝統・文化、産業、経済等の理解を深めてもらうための事業を1966年（昭和41年）から実施しています。

これまでに受け入れた留学生は394名に上り、帰国した留学生は、学んだ知識や技能を活かしてそれぞれの国で活躍するとともに、県人会の活動に積極的に参加し、福岡県との交流に貢献しています。

200名以上の留学生を送り出してきたブラジルでは、2012年（平成24年）9月に、県費留学生OB会が設立されました。また、留学生OBが会長を務める県人会もあり、後継者育成の成果を上げています。次を担う世代と福岡県との新たな交流の拡大が期待されています。

ブラジル県費留学生ＯＢ会設立記念式典（2012 年）

留学証書授与式・送別会

福岡県庁訪問

移住者子弟留学生（県費留学生）

ブラジル県費留学生ＯＢ会の皆さん

博多祇園山笠に参加

たけのこ掘り体験

田植え体験

着物体験

生け花体験

移住者子弟留学生（県費留学生）

福岡県海外移住家族会の皆さんと

ぶどう狩り体験

稲刈り体験

海外県人会子弟の招へい

福岡県から海外に移住された県人会会員の子どもたち（小学校高学年）を、約2週間、福岡県に招き、福岡への興味・関心を高め、理解を深めてもらうための事業を2008年（平成20年）から実施しています。

これまでに招へいした子どもたちは112名に上り、県内での様々な体験を通じて、自分のルーツである福岡を誇りに思い、帰国後は、日本語の勉強に一層熱心になったり、和太鼓グループの練習に参加するなどの変化が現われています。

将来は、県人会活動の後継者として活躍することが期待されています。

福岡県庁訪問

福岡県議会訪問

和太鼓体験

南京玉すだれに挑戦

海外県人会子弟の招へい

大島山笠に参加

小学校での交流～書道体験

小学校での交流～自国の紹介

博多祇園山笠見学

小倉城見学

海外県人会子弟の招へい

トヨタ自動車
九州工場見学

うちわ作り体験

和太鼓体験

海外県人会との交流

移住周年記念式典や県人会創立記念式典等に、福岡県からも訪問団が参加し、県人会との結びつきの強化に努めています。

パラグアイ福岡県人会創立 45 周年（2005年）

ブラジル日本移民 100 周年（2008年）

南加福岡県人会創立 100 周年（2008年）

日本人アマゾン移住 80 周年（2009年）

海外県人会との交流

アルゼンチン福岡県人会創立 45 周年（2010年）

サンフランシスコ福岡県人会創立 60 周年（2010年）

バンクーバー福岡県人会創立 30 周年（2010年）

メキシコ福岡県人会創立 60 周年（2011年）

ペルー福岡クラブ会長一行の福岡訪問（2013年）

ボリビア福岡県人会との交流（2013年）

様々な分野での交流の広がり

福岡県では、海外福岡県人会の協力のもと、県内の青年をブラジルなどに派遣し、農業実習や視察研修等を通じた交流を行ってきました。

近年、海外福岡県人会が持っているネットワークを活かし、県人会と連携したビジネスや青少年交流等が行われるようになり、今後さらに、このような新たな交流の促進、拡大が期待されます。

ブラジル派遣農業実習
（写真提供：「赤い大地の会」）

県内大学生のメキシコ派遣研修

様々な分野での交流の広がり

県内大学生のロサンゼルス研修

みやこ町海外ホームステイ事業（ハワイ島）

県立水産高校実習船ハワイ交流事業

福岡大学とシアトル県人会との交流

様々な分野での交流の広がり

ブラジルでの福岡プロモーション

サンパウロ「日本祭り」で福岡県産品を紹介

海外福岡県人会世界大会

海外福岡県人会世界大会は、1990年（平成2年）に開催された「とびうめ国体」に各海外福岡県人会が招待された際、県人会同士の交流の場を設けることが提唱されたことを契機に、1992年（平成4年）にロサンゼルスで第1回大会が開催されました。以降、3年に一度開催され、福岡県との絆を深めています。

第１回世界大会
（1992 年９月、ロサンゼルス）

第２回世界大会
（1995 年９月、サンパウロ）

第３回世界大会
（1998 年９月、ホノルル）

海外福岡県人会世界大会

第４回世界大会
（2001 年９月、福岡）

第５回世界大会
（2004 年９月、トロント）

第６回世界大会
（2007 年８月、シアトル）

第７回世界大会
（2010 年８月、サンパウロ）

新聞掲載記事

西日本新聞（朝刊）
平成２５年（２０１３年）
４月11日（木）

県人会世界大会 福岡で10月開催

県民との交流も企画

海外に移住した県出身者とその家族らでつくる海外福岡県人会の第８回世界大会実行委員会の設立総会が10日、福岡市であった。10月９～12日の日程で福岡市を中心に開催し、県人会と県民が交流できるイベントを実施することを決めた。

県によると、戦前・戦後を通じて海外に移住した県出身者は全国で４番目に多い約５万５千人。ブラジルや米国、ペルーなど９カ国に21の海外県人会がある。

世界大会は１９９２年に米国・ロサンゼルスで行われた第１回大会以降、３年ごとに世界各地で開いている。福岡開催は、第４回大会（２００１年）以来、12年ぶり。

設立総会には、実行委会長を務める小川洋知事や経済団体関係者ら15人が出席。知事は「大会を通じ、県人会の方に福岡の今の姿をつぶさに見ていただくことに加え、県人会の活躍を県民の皆さんにも知ってもらいたい」とあいさつした。

従来の大会が県人会同士の交流が主体だったことから、今回は、海外で活躍する県出身者と県内の企業家や若者らが交流できるセミナーやシンポジウムの開催を予定。県人会メンバーら約６００人の参加を見込んでいる。

西日本新聞（朝刊）　平成２５年（２０１３年）８月２８日（水）

大切な二つのふるさと

日系移民の子どもたち

きょうのテーマ

かつて日本から海外へ移り住んだ人たちがいる。日本の農村は狭しかったので、食べるためには国外へ出て、農地を耕して暮らしを豊かにしたいと思っていた。しかし、慣れない土地でとても苦しむたくさん。こうした移住者（日系移民）の子孫にあたる子どもを福岡に呼び寄せる組みをしている。6回目の今年は7カ国27人が「ふるさと」を訪れた。うち、アメリカ・ハワイ、ブラジル、ペルーの3人に、ことも特集が取材した。

取材後、打ちとけた様子で記念さつえいした。左からナルミさん、宮内さん、コウジ君、飯田さん、マリサさん、古賀君

3カ国の子どもにインタビュー

ハワイ　ほこりもって生きている

アメリカ・ハワイのホノルルに住んでいる有吉マリサさん（11）は、ひいおじいさんがハワイに移住した。マリサさんのおじいさんはジョージ・アリヨシさんといって、日系人として初めてアメリカの州知事になった人だ。1975年に福岡市の天満公園を訪れたときに記念植樹したケヤキがある。「祖父はとても優しく、思いやりのある人だ」と話した。

日本に来たのは４回目だが、福岡は初めて。ハワイでもみそ汁のような日本の食べ物を毎日食べているので、日本の食べ物は大好きだそうだ。

マリサさんは自分が日系人であることにとてもほこりをもっている。「みんなとちがっていていい。私は自分が日系人であることが好きだ」と話していた。（福岡市・福岡教育大付属福岡小６年＝古賀大輝特派員）

◇1885年のハワイへの移住が、本格的な海外移住の始まり。ハワイをふくめアメリカ全体で約115万人の日系人がいる。

ブラジル　日本の文化が残っている

ブラジルのサンパウロに住む宗石ユウジ・ギレルメ君（11）は日系４世だ。先祖について尋ねると「言葉が話せず、ブラジルの文化、生活の仕方を何も知らなかったので大変だったと聞いている」と答えた。

日本で興味があるのはアニメ。「ワンピース」「フェアリーテイル」はブラジルでも人気と聞き、親近感をいだいた。

家には日本の文化が残っており、お香も置いているそうだ。日本のイメージは「きちんとした、静かできれいな国。ロボットなどの最先端技術が進んでいる国」。今回初めて日本を訪れ、実際に日本がとても静かなことに驚いたそうだ。私たちには通訳がいたからお互いの気持ちを理解できたが、自分で一から道を切り開いてきた移民の人たちはとても大変だっただろう。

（福岡県志免町・志免中１年＝飯田綾特派員）

◇ブラジルへの移住は1908年に始まった。海外で最も多い約150万人の日系人がいる。

ペルー　日本語学び「嵐」が大好き

ペルーの佐々木ナルミさん（12）は日系移民４世だ。ナルミさんのひいおじいさんが日本人で、後にペルー人の女性と結婚した。ナルミさんはペルーで生まれ、小学１年から５年まで愛知県に住んだ。いまはリマという街に住んでいる。家ではスペイン語で会話しているが、日本語も上手だ。

通っている学校は大半が日系人で、生徒は40人ほど。給食もあり、日本語の勉強もする。友達の間では、日本のアイドルグループ「嵐」がとても人気で、ナルミさんは櫻井翔さんが好きという。私は「日系移民」という言葉すら知らなかった。一番心に残ったのはナルミさんの「ペルーも日本もどちらもふるさと」という言葉だ。二つの国をとても大切に思っていることに感動した。（福岡市・和白丘中１年＝宮内ゆあい特派員）

◇ペルーへの組織的移住が始まったのは1899年。南アメリカでは最初。世界で３番目に多い約９万人の日系人がいる。

73万人、農村を離れ

支え合った「県人会」

昭和30年代のブラジル移民の日本人家屋

海外への移住が日本国内になったのは1885年（明治18年）。明治時代という「近代」になり、秩序のしくみも変わって農村のくらしは苦しくなった。都市は仕事を求めて集まった人であふれ、海外への移住が注目されていった。

多くの人が「お金をためて帰ってこよう」と海をわたり、コーヒー農場などで働いたが、くらしは大変だった。言葉が通じず、人種差別を受け、マラリアなどの伝染病で大勢の人が亡くなった。第２次世界大戦のときは敵となる国は約３万８千人。広島、長崎、熊本に次いで全国で４番目に多い。

ブラジルに着いた熊本県移民団。後ろはアマゾン川＝1955（昭和30）年12月さつえい

ブラジルの農場をかいてする日本人移民＝1957（昭和32）年ごろ日本人移民

それ、収穫作業をされたりもした。そのうえ苦労をしながら、移民たちは現地で生きることを決断していった。

苦労の日々の中で、移民たちがつくったのが「県人会」だ。「ふるさとが同じ人たちで助け合おう」「いつまでもふるさとを忘れない」とも願っている。移住者は全国から約３万人に上り、福岡県は約３万８千人。

福岡県人会は９カ国に対する今年10月には福岡市で「第９回福岡県人会世界大会」が開かれ、12、13日は天神中央公園で各国の料理やおどりが楽しめる。大会を前に写真展が県庁１階で開かれており（２０日まで）、今後は九州国立博物館やアクロス福岡などである。

海外県人会世界大会まで１カ月

残日計に「30」点灯

県庁前で除幕式

県庁前にある広告塔の残日計には「30」の数字が点灯された。

来月9日から県内で開かれる「第8回海外福岡県人会世界大会」を前に9日、県庁前にある広告塔の除幕式があった。大会まで残り1カ月となり、広告塔の残日計に30の数字が点灯した。

海外福岡県人会は、県内から中南米などへの移住者と子孫、企業の海外駐在員らで組織され、現在は21カ国・地域に37の県人会がある。世界大会は3年ごとに各地持ち回りで開かれており、福岡での開催は2001年以来、12年ぶり。大会は10月9～12日の4日間で、記念式典の他、海外の物産展や県内観光地巡りなどが予定されている。

除幕式に参加した小川洋知事は「世界で活躍する海外県人会を県民の方々にも知ってもらうため、一人でも多くの皆さんに大会に出席してもらいたい」と話した。

西日本新聞（朝刊）　平成２５年（２０１３年）９月１０日（火）

県人会世界大会「あと○日」表示

来月開催へ県庁前

小川知事（左から2人目）らによる残日計除幕式＝福岡市博多区

来月に福岡市内である「海外福岡県人会世界大会」開催のちょうど30日前となった9日、県庁舎前にある広告塔に、開幕までの日数を刻む残日計がお目見えし、小川洋知事らが除幕した。

今回で8回目となる世界大会は10月9～12日に開かれる。初大会は1992年に米国で開催され、福岡での開催は2001年以来。中南米や北米など21カ国・地域にある37の県人会から、約300人が出席予定という。

大会実行委員会長の小川知事はあいさつで「世界で活躍する県人会のことを県民に知ってもらうとともに、大会を契機にビジネスや文化交流などを一層進めたい」と話した。

朝日新聞（朝刊）　平成２５年（２０１３年）９月１１日（水）

読売新聞広告（朝刊）　平成２５年（２０１３年）９月２８日（土）

西日本新聞（朝刊）
平成２５年（２０１３年）10月5日（土）

★★
ブラジル経済事情紹介
福岡市で無料セミナー

ブラジルの経済事情や日本との関係を考える「南米・ブラジル経済セミナー」が11日午後5時から、福岡市・天神のアクロス福岡である。第8回海外福岡県人会世界大会記念事業の一環。参加無料。

福岡県出身でブラジルに移住後、日本のＯＤＡ（政府開発援助）案件のブラジル側の交渉人を務めた河野賢二氏が「ブラジルに新幹線が走る日」と題し講演。福岡市内で飲食店を経営する関一優氏や日本貿易機構の担当者がブラジルの実情や魅力を語る。

要申し込み。午後6時半から交流会も。同大会事務局＝０９２（７２５）３３０９。

9　2013年(平成25年)10月6日　日曜日　西日本新聞

お帰りなさい

海外福岡県人会の所在地

英国
オランダ
フランス
中国 大連 上海 香港
韓国 ソウル
台湾
福岡
タイ
インド デリー
マレーシア
ベトナム ハノイ ホーチミン
シンガポール
インドネシア デンパサール ジャカルタ

海外福岡県人会の「第8回海外福岡県人会世界大会」が9～11日の3日間、福岡市で開かれる。3年に1度、各国持ち回りで開かれており、福岡県で4回目。2001年以来、12年ぶりの県人会からの約300人が集まり交流するほか、海外県人会の取り組みや各国文化の紹介、料理や義援金の販売イベントもある。（太田裕子）

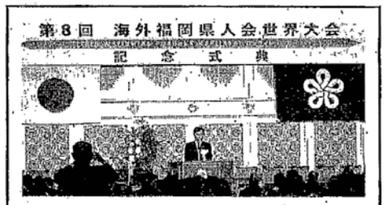
福岡県からの移民は約5万6千人にも、広島、鹿児島、熊本に次ぐ。国別では南米に多い。戦後は一時期、ブラジルへの移住が多くなり、西国で出産を重ね、家族で移住を決意した。1985（昭和60）年、当時のハワイ州知事の日本の都市間交流で、福岡県からの初の移住者1200人がハワイへ渡ったのを皮切りに、移住先はカナダ、オーストラリア、メキシコなどに広がった。男女比は大幅に偏っていたが、戦後も在外邦人の移住はいったん中断するが、戦後も在外邦人の移住は続き、1963年に移住者が、1964年に移住者が、1965（昭和40）年、当時のハワイ州知事の日本の都市間交流で、多くの移民が海外に移住したとされる。

9面に続く

留学先は祖母の故郷

アルゼンチン日系3世 **湯浅ファクンドさん**（27）

父に会いたいあるがままに、「アルゼンチンでの暮らしは、ゆったりとした時間が流れている。日本の生活は、『効率』を求められ、『人』は『機械』のようだ。『効率』を求めるあまり、『人』は『機械』のようだ。『効率』を求めるあまり、『人』は『機械』のようだ。『効率』を求めるあまり



◆福岡で県人会世界大会

海外で暮らす福岡県出身者が集う「第８回海外福岡県人会世界大会」が９日、福岡市で開幕し、ブラジルやタイなど16の国・地域から日系２世、３世を含む約300人が記念式典に出席した＝写真＝。

大会は３年ごとに世界各地で開かれており、県内での開催は12年ぶり２回目。式典には２世で元ハワイ州知事のジョージ・アリヨシ氏も出席。大会実行委員会長の小川洋知事が「福岡と世界のネットワークがさらに強化されることを期待したい」とあいさつした。

12日までの期間中、記念植樹やふるさと巡りなどが予定されている。戦前・戦後の国の移住政策などにより、福岡県からは全国で４番目に多い約５万6000人が海外に移住。現在、21の国と地域に県人会があり、会員数は約4000人。

読売新聞（朝刊）
平成25年（2013年）
10月10日（木）

久々の「古里」楽しむ

海外県人会世界大会

小川知事（右）の言葉に耳を傾ける海外県人会の代表者ら

12年ぶりの県内開催となる海外県人会世界大会が始まった9日、福岡市のホテルで開かれた記念式典では、小倉祇園太鼓の演奏などが披露され、海外で暮らす移住者たちは久しぶりの「古里」を実感していた。

式典では、南加（米・南カリフォルニア）県人会の宗伸之会長(68)が「大会で情報やアイデアを交換し、絆を強めたい」とあいさつ。春日西小学校（春日市）の児童が「赤とんぼ」や「ふるさと」などを歌うと、参加者は目を閉じて聞き入っていた。

式典に先立ち、各海外県人会の代表者ら約30人が県庁を訪問。ブラジル県人会の南アゴスチンニョ俊男会長(58)は小川知事に、「曽古里に来るのを楽しみにしていた」と笑顔を見せていた。

大会と連動し、12、13日には、福岡市中央区の天神中央公園で県人会の活動や各地の料理、文化などを紹介する「県人会フェア」が開かれる。

読売新聞（朝刊）　平成25年（2013年）10月10日（木）

お帰り 海外県人会

苦労と信頼 土産話に

大会開幕、300人交流

銅板レリーフを小川知事に贈ったブラジル県人会会長の南さん（右）＝県庁

県出身の祖父母の子孫らでつくる県人会が一堂に会しての「海外県人会世界大会」が9日、福岡市で開幕した。12日までで、世界各地から集まった約300人が県民も交え、セミナーなどを通じてビジネスや文化、若者同士の交流を深める。

初大会は1992年に米国で開かれ、今回は8回目。福岡開催は2001年以来だが、中南米や北米、アジアなど21カ国・地域にある37の県人会から、今回は26県人会が出席する。

9日に福岡市内のホテルであった記念式典で、大会実行委員会長の小川洋知事らは「よくぞ福岡にようこそ」「お帰りなさい」と歓迎。米国・ロサンゼルスの南加県人会（宗伸之会長(57)）出席者の話題や悩みを話し、情報やアイデアを提案し合う実りある大会にしたい」とあいさつした。

式典に先立ち、県人会代表らが県庁に小川知事を表敬訪問し、現地の風習などの違いなどを聞いた。コーヒー豆の収穫作業の様子が描かれた大きな銅板レリーフを寄贈したのは、ブラジル県人会の南アゴスチンニョ俊男さん(58)。祖父が大刀洗町からサンパウロに渡り、開墾してコーヒー園にした。「1世の人たちが本当に苦労し、その結晶で日系人は地元で信頼されている」と3世の南さん。

自身は1980年に九州大学に留学し、その後の企業研修で知り合った女性と結婚。いまはサンパウロで建築会社を経営している。約600家族を抱えるブラジル県人会の会長だ。2年ぶりの福岡だが「親戚にも会って、おいしいものを食べたい」と笑顔で語った。

大会では、福岡市の平尾霊園にある海外でたくさんの県民の慰霊碑の参拝、県人会の代表者会議や青年の集い、ビジネスセミナーや北部九州視察など多彩なメニューを用意。12、13日は天神中央公園でサンバなどの特設ステージや、「福岡地域理・物産の販売もある。問い合わせは県庁国際政策課（092・725・6330）へ。（北沢裕彦）

朝日新聞（朝刊）
平成25年（2013年）
10月10日（木）

移住78年 万感の帰郷

ブラジル日系１世 中村さん(90)

花を手向けた後、慰霊碑に手を合わせるブラジル日系1世の中村勲さん（中央）＝10日午後3時ごろ、福岡市南区の平尾霊園

農園転々、掘っ立て小屋の家、風土病…

苦労重ね、飾った錦

福岡市で開かれている第8回海外福岡県人会世界大会に、ブラジルに農業移民として193 5年に移住した中村勲さん(90)＝福岡県久留米市出身＝が参加している。11歳で家族と渡航した井上さんは、コーヒーや綿花農園などで働いた思い出を振り返り、10日、福岡市南区の平尾霊園を訪れ、海外で亡くなった移住者の慰霊碑に万感の思いを込め、手を合わせた。

福岡県人会会 世界大会

船内は、約900人の移住者でごったがえした。35年5月14日、中村さんは父定見さん（故人）と母タツヨさん（同）、弟たちと一緒に客船サントスMで54日間かけ、ブラジルに向かった。

当時は関東大震災（23年）や昭和金融恐慌（27年）で日本は疲弊。20年代後半からブラジルへの移住者が激増した。「真面目に10年働けば、故郷に錦を飾ることができる」。こうした触れ込みを信じ、渡航を決断した人たちは多かった。

中村さんの家族はコーヒー農園などを転々。ジャングルを切り開いた。

は学校に通わず、両親の仕事を手伝った。いったんは綿花栽培で成功し土地も手に入れたが肥料の質も悪く土地は数年でやせ、手放さざるを得なかった。移住者の大勢が過労や風土病で命を落としたという。

移住から約2年、転機は訪れた。両親はサンパウロで青果市場経営に乗り出し、これが成功。中村さんも経営に参加した。両親は既にいなくなったが、今ではサンパウロとリオデジャネイロの二大都市で青果市場を営む。

「父と母の苦労を心に刻み、頑張った」と話す中村さんはブラジル福岡県人会の顧問を務める。

「移住者はみんな日本、福岡への愛情を持ち続けている。世界大会を機に、交流活動をさらに深めたい」と力をこめた。（庶木青充）

西日本新聞（朝刊）
平成25年（2013年）
10月11日（金）

◆海外福岡県人会が世界大会 福岡市

世界各地から約600人が参加した海外福岡県人会世界大会の記念式典＝9日午後5時半ごろ、福岡市中央区（撮影・本田彩子）

福岡県から海外に移住した人々やその子孫が集う「第8回海外福岡県人会世界大会」が9日開幕し、福岡市中央区の西鉄グランドホテルで記念式典があった。海外16カ国・地域の26県人会の会員や県内関係者ら、約600人が参加した。

世界大会は3年に1度、各国持ち回りで開かれ、福岡県での開催は12年ぶり。式典では、米・ロサンゼルスにある南加福岡県人会の宗伸之会長が「共通の悩みや情報を共有し、実りある大会にしたい。絆を強め次の世代に引き継ぐことあいさつ。米国で日系人初の州知事となったジョージ・アリヨシ氏（元ハワイ州知事）が祝いの言葉を述べた。

大会は12日まで。11日は福岡県内観光地巡り、12日は各国の料理店などが出店する県人会フェアなどが予定されている。

西日本新聞（朝刊）
平成25年（2013年）
10月10日（木）

16カ国・地域から

◆県人会世界大会が開幕◆

「母県へようこそ」

小川知事（前列中央）と記念写真に納まる海外県人会の代表ら

県と海外県人会の交流を深めようという世界大会が9日、福岡市で開幕した。3年ごとに世界各地で開かれ、今回で8回目。県内での開催は2001年以来12年ぶり。初日の記念式典には海外からの約300人を含む約600人が参加し、親睦を深めた。

式典では小川洋知事が「母県へようこそ。大会を機にビジネスなど幅広い分野で交流が広がり、県と各地のネットワークが強まるよう期待します」とあいさつ。16カ国・地域から参加した26県人会の代表者らが紹介され、それぞれの活動ぶりや近況が報告された。

また式典に先立ち、23県人会の代表31人が小川知事を表敬訪問。代表でブラジル県人会の南アゴスチンニョ俊男会長(58)が「古里での大会は楽しみ。県人会同士の関係強化につながると期待している」と述べた。

大会は1992年から開催。今回は12日まで、北米や南米でのビジネス事情を県人会員が語るセミナーや福岡・北九州・筑豊・筑後各地域を回る「ふるさと巡り」、TOTOゼンリンなど地場企業視察が予定されている。12、13日には中央区の天神中央公園で各国の料理・物産が販売され、サンバやテンダンスがステージで披露される「海外県人会フェア」がある。【林田雅浩】

毎日新聞（朝刊）　平成25年（2013年）10月10日（木）

海外福岡県人会世界大会が開幕～記念式典に600人

海外に移住、生活する福岡県出身者らが一堂に集まる「海外福岡県人会世界大会」が9日、開幕した。同日、福岡市内で開かれた記念式典には、ブラジル、ペルー、ハワイ、タイなど16の国・地域から26の海外福岡県人会の300人を含む、国内外の600人が出席した。世界大会は、3年ごとに各国持ち回りで開催しており、今回が8回目。福岡県での開催は2001年以来2度目。

〈左から〉感謝状を贈られた
海外県人会の代表、小川洋知事、松尾統章議長

式典後には、歓迎レセプションが開かれ、終戦直後の移民の時期に海外に渡った移住者、その子孫から、近年発展目覚ましいASEAN（東南アジア諸国連合）へ赴任しているビジネスマンなど海外で暮らす多彩な県出身者が、国内の親族や関係者との再会や交流を温めていた。

式典では、春日西小学校の児童が「春の小川」や「秋祭り」の合唱を披露。最後に、出席者全員で「ふるさと」を合唱し、久しぶりの故郷に様々な思いをめぐらせた。

ペルーで生活するハシモト・ルシラさん（61）は、37年ぶりの帰国。夫のヒガ・クレメンテさん（65）は日系3世で、日本は初めて。ハシモトさんは「街並みや景色は変わっているけれど、（海外に移住する前の）あの頃を思い出す。来てよかった」と目を潤ませた。

記念式典で合唱を披露する
春日西小学校の児童

全員で「ふるさと」を合唱する出席者

（公財）福岡県国際交流センターの新宮松比古理事長が開会宣言し、小川洋福岡県知事、松尾統章福岡県会議長らが挨拶した。小川知事は、ブラジル訪問で間近に知った移住者たち先人の苦労にふれながら、県人会の活動に感謝を述べ、「ルーツは福岡、夢は世界へ。未来につなごう、福岡の絆」と呼びかけた。松尾議長は「おかえりなさい」と心を込めて語りかけ、「県人会同士の交流を温めてほしい」と呼びかけた。

海外県人会を代表して、南加福岡県人会の宗伸之会長が「共通の話題、悩み、出来事を持つ私たちが情報を交換し合い、実りのある大会にしたい。そのことでお互いのコミュニケーションがはかられ、絆を強め、次の世代に引き継いでいける」と挨拶した。

米国で初の日系人知事となったジョージ・良一・有吉氏（元ハワイ州知事）が祝辞を述べ、「皆さまがここにいらっしゃることは、日本の功績、福岡で培われた文化や、進歩を共有するという誇りの表れです」と語った。

世界大会は、12日まで。記念植樹や太宰府視察、トヨタ自動車などの企業視察が予定されている。また、北米ビジネスセミナーや南米・ブラジルセミナー、県人会フェアなども開かれる。

【山本　弘之】

NetIB-NEWS　平成２５年（２０１３年）10月11日（金）

20～30代の若い世代の日系人たちが議論した「青年の集い」

若い世代 文化継承議論

海外県人会世界大会 青年の集いに20人

福岡県から海外へ移住した人や子孫たちが集うた「第8回海外福岡県人会世界大会」は2日目の10日、福岡市中央区のホテルで「青年の集い」を開いた。20～30代を中心に海外14の県人会から20人が参加。自分たちのルーツ、福岡の文化を若い世代でどう受け継いでいくかを議論した。

海外の県人会では移民の高齢化が進む。県は次世代のリーダー育成のため、移民の子孫を県費留学生として受け入れるなど交流事業を行っている。集いでは交流事業の参加者が「あらためて福岡への思いが強まった」と発言する一方、「日本語ができないと（県費）留学の選考に通りにくい」などの意見も出た。

ブラジルのトメアス福岡県人会で日系3世の稲田明さん（28）は「留学で初めて福岡に来た時、『自分はここから始まったんだ』と自然と涙があふれ、『ただいま』と言っていたのはおかしい。福岡へ来たいという気持ちをもった。この気持ちを次の世代にも必ずつなげたい」と語った。

西日本新聞（朝刊）
平成２５年（２０１３年）10月11日（金）

同郷の絆 移民生活支え

県人会世界大会 90歳中村さん感慨深く

12年ぶりに県内で開催されている海外県人会世界大会（12日まで）には、16か国・地域から県出身者ら約300人が参加し、交流を深めている。11歳でブラジルに渡った中村悦さん（90）（久留米市出身）もその一人。「母国の仲間と支え合ったからこそ、今の自分がある」と絆の大切さを改めてかみしめていた。

久留米絣の職人だった父・定晃さん（故人）が一念発起して、新天地での営農を決意。1934年、両親と弟3人の一家6人でブラジルへ渡った。

すぐに農業移民の厳しい現実に直面した。用意されていたのは、木々が生い茂る開墾が難しい土地。学校には行かず、他の日本人が経営する綿花畑やコーヒー農園に雇ってもらい、「星が見える時間から再び星が出るまで働いた」。

農業への限界を感じ、30歳代半ばに、サンパウロ市の青果市場で農産物の受託販売をする会社を興した。

「日本からの移住者のつながりが、厳しい移民生活の支えだった」と言うように、人の輪の広がりとともに仕事も増え、会社は従業員数約90人にまで成長。ブラジル県人会会長を約10年間務めたのも、故郷を離れて暮らす人同士の絆を強めたいとの思いからだった。

福岡市で9日夜に開かれた海外県人会世界大会の記念式典。大勢の仲間を前に、「世界中からこんなにたくさん集ったことに感動した。『和の心』を大切に、頑張る意欲が湧いてきた」と笑顔を見せた。

記念式典で笑顔を見せる中村さん

読売新聞（朝刊）　平成２５年（２０１３年）10月11日（金）

第8回福岡県人会世界大会「未来につなごう福岡の絆」

海外とのネットワーク強化を

【福岡発・吉永拓哉福岡支局長】世界9カ国に21カ所ある福岡県人会同士の交流や活性化を目的とした『第8回海外福岡県人会世界大会』の記念式典が9日、福岡市内の西鉄グランドホテルで行われた。世界大会にはブラジル福岡県人会（南アゴスチンニョ会長）、ペレン福岡県人会（小野重善会長）、トメアス一福岡県人会（加藤広行会長）をはじめ、中南米、北米、アジアから約300人の県人会会員が来日し、母県の関係者らを合わせると出席者600人もの盛大な式典となった。

海外福岡県人会世界大会は1994年から3年おきに実施されており、8回目となる今回は（公財）福岡県国際交流センターが主管して母県で開催した。

新宮松比古大会実行委員長（同センター理事長）の開会宣言に始まり、小川洋福岡県知事があいさつ。「大会テーマは『ルーツは福岡　夢は世界へ　未来につなごう　福岡の絆』です。この大会を機に故郷福岡と海外県人会のネットワークがさらに強くなることを願います」と述べた。

続いて海外県人会を代表し、南加福岡県人会（在ロサンゼルス）の宗伸之会長は「県人会同士で共通の話題、悩み、出来事を語り合い、お互いにアイデアを出し合って次世代の福岡県人会につなげていきたい」と抱負を語った。

式典ではこの後、小川知事から各県人会長へ感謝状や記念品が贈呈され、最後は地元小学生たちによる『ふるさと』のコーラスに合わせて場内全員で合唱した。

引き続き行われた歓迎レセプションでは、小倉祇園太鼓や博多祇園山笠など郷土の芸能が披露される中、各県人会と母県の人たちが楽しそうに歓談した。

ブラジル福岡県人会副会長で、同県費留学生OB会長の福永ミルトンさん（51、会社経営者）は、88年に九州産業大学で経営学を学んだ。その時の 留学経験が今の仕事に生かされているという。「私の目標は、県費留学生OBと福岡の企業を結ぶこと。これが次世代の福岡県人会と母県の発展となる。今回は そのための交流でもある」と福永さんは意気込んでいた。

レセプション会場の端で椅子に腰かけていた鶴我（つるが）昌則さ ん（90）は、住まいの筑豊地方から会場へと足を運んだ。鶴我さんの弟・博文さんが54年前に単身でブラジルへ渡り、モジ・ダス・クルーゼス市で長年農業 を営んでいたという。博文さんは世界大会への参加を楽しみにしていたが、渡航手続きをしていた最中の今年8月2日に自宅で亡くなった。享年77歳だった。

鶴我さんは会場を眺めながら「わしは弟を訪ねて平成元年にブラジルへ行ったことがある」と、在りし日の博文さんとの思い出を懐かしんだ。

本来なら博文さんと一緒に来日するはずだった妻の敬子さん（81、福岡県出身）は、ブラジルから博文さんの写真を持参して会場入りした。「夫がいなくて不安でしたが、どうにか故郷まで帰って来れました」と、目にうっすら涙を浮かべてほほ笑んだ。

なお、同大会は3日間にわたり、代表者会議、ブラジル経済セミナー、企業視察、県人会フェアなどが行われた。

2013年10月12日付

サンパウロ新聞　平成２５年（２０１３年）10月12日（土）

日本語の図書館や学校運営

日系社会の発展に尽力

終戦後に米兵と結婚した「戦争花嫁」として渡米した春日市出身のツチノ・フォレスターさん(82)が、福岡市で開催中の第8回海外福岡県人会世界大会に参加している。米シアトルで現地の日系人や、日本文化を学びたい人のために、日本語の本を集めた図書館「日系文庫」を運営。草の根レベルで日系社会の発展に力を注いできた。

夫のマイクさん（右）と仲むつまじく福岡県人会世界大会に参加するツチノ・フォレスターさん

ツチノさんは1931年、春日村（現春日市）で、6人きょうだいの5番目として生まれた。筑紫高等女学校（現筑紫中央高）を卒業。56年に、米空軍として福岡、佐賀両県境にある脊振山通信施設に勤務していたマイクさんと出会い、結婚し、60年にそろって日本を離れた。

人種差別や、戦争花嫁に対する偏見もあった時代。「水杯を交わすようなお覚悟があったし、若さえた時、ここに定住しようと決めた」と故郷の景色を重ねる。

シアトルではまず前の故の無鉄砲さもあったので、寂しいというよりチャンスがあれば何かしてみようという気持ちだった」とツチノさんは振り返る。

仕事や学業のため、アラスカ、カリフォルニアなどを転々とした夫妻は、80年からシアトルに住む。「海と山があり日本に似ている。飛行機の窓からきれいな松林が見

行動力で日系社会の発展に尽力した。現地の日系養護施設で美容師の派遣などの奉仕活動を始め、その活動は戦前から移住して強制収容を経験した世代と、戦争花嫁との相互理解につながった。

15年前からは日本語学校の運営に参加。読書が趣味で図書館を作るのが夢だったこともあり、「日系文庫」を開設した。寄贈を呼び掛けて集まった本は、今や1万4千冊に上る。今年1月には図書館や学校の運営費を賄うため、日米の音楽家が参加するチャリティー演奏会を開く。「日本で親孝行ができなかった分、人のためにと思ってボランティアをしてきた。夫の支えもあり、楽しみながらやっています」。82歳になる今も生き生きと飛び回るツチノさんは、マイクさんの手をきゅっと握ってほほえんだ。

（丹村智子）

西日本新聞（朝刊）　平成25年（2013年）10月12日（土）

23町村の産品 天神にずらり

きょうまでフェア

県内の23町村の特産品などが並ぶ「第6回ふくおか町村フェア」が12日、福岡市の天神中央公園で始まった＝写真。主催は県と県町村会でつくる実行委員会で、福岡都市圏の人に各町村の魅力を伝えて足を運んでもらおうと企画した。13日まで。

会場には、八女茶詰め放題やパイ生地のたい焼きなど、ユニークな特産品を販売するテントが並んだ。ステージにはご当地アイドルなどが登場し、会場を盛り上げた。県内で海外福岡県人会世界大会が開かれていたこともあり、海外県人会フェアも同時開催した。

県町村会事務局長の中島俊介さん(63)は「各町村の特産品に加えて、今年は海外のブースもあります。ぜひ遊びに来てほしい」と話した。

西日本新聞（朝刊）
平成25年（2013年）10月13日（日）

◆海外福岡県人会世界大会が閉幕　福岡県から海外に移住した人や子孫たちが集う「第8回海外福岡県人会世界大会」が12日閉幕し、福岡市中央区のホテルで約400人の参加者がさよならパーティーを開いた。

参加者は、9日から4日間の大会で開催したセミナーなどを通じて深めた議論を踏まえ、「福岡宣言」を取りまとめた。代表して米シアトル・タコマ福岡県人会の玉井純夫会長(77)が「今後、県人会のみならず福岡県の青少年育成のための相互交流を進め、福岡県と海外県人会の幅広い分野における交流を推進するため、ネットワークの拡大・強化に努めます」と宣言を読み上げた。

次回は2016年、メキシコで開催される。

西日本新聞（朝刊）　平成25年（2013年）10月13日（日）

西日本新聞　2013年（平成25年）10月24日　木曜日

花時計

九州大学大学院に留学中のブラジルの日系3世、稲田明さん(28)は2009年、初めて福岡空港に降り立ったとき、自然に涙があふれたという。「自分のルーツはここなんだと感じて、無意識に『ただいま』と言っていた」と振り返る。

今月、福岡で12年ぶりに開かれた海外福岡県人会世界大会。世界16カ国・地域から海外移住者やその子孫たちが参加した。開会式典で披露された日本の童謡を、目に涙を浮かべながら聞き入る人もいた。移住者たちの「故郷」に対する強い思いを感じ取った。

3世、4世になると、日本語が分からない若者たちもいる。それでも、海外県人会の存続のために何が必要か、英語やスペイン語で必死に議論していた。

「自分のルーツへの思いを次の世代にも伝えていきたい」。言葉の壁はあっても、思いは着実に受け継がれていると確信した。

（本田彩子）

西日本新聞（朝刊）　平成25年（2013年）10月24日（木）

2013年（平成25年）11月17日（日）

たまてばこ

夢破れた異国に生きる

敗戦から10年が過ぎた1955年、16歳の少年は単身ブラジルに向かう船上にいた。「向こうの大学で勉強して、国の役に立つ技術者になるんだ」。大きな夢を抱いて海を渡った日を、サンパウロに住む松尾治さん(75)は懐かしく思い出す。

小倉の生まれ。7歳の時に敗戦となった。母は病死し旧満州（現中国東北部）から引き揚げてきた父と小中学時代を福岡県行橋市で過ごした。時代は高度経済成長のとば口。沸き立つような時代のエネルギーは中学生の少年をも突き動かした。「道路や発電所を造って国を支えるんだ」。技術者に憧れ大学進学を志した。

だが、父の司法書士の仕事は振るわず、言い出せなかった。そんな時、ブラジルに親類がいることを知った。「こっちに来れば学校に行かせてやる」。家族の反対を押し切り、新天地を求める大勢の日本人と共に神戸から船に乗り込んだ。

ブラジルに着いて現実を思い知るには時間はかからなかった。雑貨商の親類を手伝い、日曜はコーヒー農園で汗を流す日々。大学進学どころか、休日もなかった。「失敗した」。毎晩涙を流した。1年後、ようやく夜間の小学校へ通い始めた。昼間は日系移民のために設立された銀行で働き、中学・高校を卒業した。

「ここで生きていくため」と会計士の勉強をして資格を取った。結婚して家庭を持ち、入行8年目で支店長に抜てきされた。ブラジルに根付くにつれ、技術者の夢は薄れていった。念願の大学にも入ったが、法律を学ぶためだった。銀行勤務の合間に勉強して弁護士資格を取り、日系企業の重役に就任したことも。実直な人柄が日系人社会の信頼を集め、今は日系人社会のまとめ役として奔走する。

海外福岡県人会や東京で開かれる日系人の集会に参加するため10月初めに里帰りし、1カ月ほど滞在した。里帰りの度に母国の街の変化に目を見張っては「中学までしか日本で暮らしていない自分は、もう日本に縁のない人間になった」とも思った。だが今はこう思う。

「ブラジルに家庭を築き、日本との橋渡し役もできる。行って良かった」

【青木絵美】

毎日新聞（朝刊）
平成25年（2013年）
11月17日（日）

大会参加者名簿

〈アルゼンチン福岡県人会／ Argentina〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	津留　アントニオ	Tsuru Antonio	柳川市
2	理事	湯浅　安伸	Yuasa Yasunobu	
3		荒瀬　猪三男	Arase Isao	筑紫野市
4		大塚　ネストル	Otsuka Nestor	嘉穂郡桂川町
5		髙嶋　アレハンドロ　アグスティン	Takashima Alejandro Agustin	
6		高橋　道子	Takahashi Michiko	
7		津留　アルベルト	Tsuru Alberto	柳川市
8		津留　紀子	Tsuru Noriko	柳川市
9		テレサス　ベアトリス　タマエ	Teresas Beatris Tamae	
10		仲地　實	Nakachi Minoru	田川郡添田町
11		藤田　典子	Fujita Noriko	糸島市
12		村上　貴美子	Murakami Kimiko	八女市黒木町
13		湯浅　雅代	Yuasa Masayo	嘉穂郡桂川町

〈在ボリビア福岡県人会／ Bolivia〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	松本　宏治	Matsumoto Koji	八女市黒木町
2	副会長	緒方　進	Ogata Susumu	
3	書記	川波　尚	Kawanami Nao	八女市黒木町
4		緒方　美朝	Ogata Miasa	

〈ベレン福岡県人会／ Belem〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	小野　重善	Ono Shigeyoshi	
2		オノ　ウラナ　トシコ	Ono Urana Toshiko	

〈ブラジル福岡県人会／ Brazil〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	南　アゴスチンニョ　俊男	Minami Agostinho Toshio	三井郡大刀洗町
2	顧問	中村　勲	Nakamura Isao	久留米市
3	相談役	小西　香月	Konishi Katsuki	久留米市田主丸町
4	相談役	岡谷　忠	Okatani Tadashi	嘉穂郡稲津
5	名誉会長	松尾　治	Matsuo Osamu	行橋市
6	副会長	田中　公	Tanaka Isao	柳川市
7	副会長	福永　ミルトン	Fukunaga Milton	三井郡大刀洗町
8	書記理事	梶本　茂雄	Kajimoto Shigeo	福岡市
9	会計理事	丸林　茂樹	Marubayashi Shigeki	久留米市田主丸町
10	理事	石崎　干城	Ishizaki Kanjo	福岡市中央区
11	理事	前田　長美	Maeda Osami	八女市
12	理事	辻沢　和枝	Tsujisawa Cazue	福岡市
13	支部長	伊藤　貞造	Ito Teizo	
14	支部長	小野　忠司	Ono Tadashi	
15		芥川　澄江	Akutagawa Sumie	
16		アレシャンドレ　ペレイラ　ダ　モッタ	Alexandre Pereira Da Motta	
17		石崎　あつみ	Ishizaki Atsumi	豊前市
18		植松　坂本　悦子	Uematsu Sakamoto Etsuko	八女市黒木町
19		江藤　キヌヱ	Eto Kinue	嘉麻市
20		大滝　多喜夫	Ootaki Takio	福岡市
21		岡谷　加代子	Okatani Kayoko	嘉穂郡稲津
22		岡田　恵子	Okada Keiko	
23		鹿毛　アデマール	Kague Ademar	福岡市
24		梶本　アンジェリカ　薫	Kajimoto Angelica Kaoru	
25		梶本　デニーゼ　さくら	Kajimoto Denise Sakura	
26		古賀　カルラ　クリスチーナ	Koga Carla Cristina	
27		古賀　キミカ	Koga Kimika	福岡市
28		木稲　ユウジ　セルジオ	Konomi Yuji Sergio	久留米市
29		重松　聖子	Shigematsu Seiko	三井郡大刀洗町
30		建本　光輝	Tatemoto Koki	うきは市吉井町
31		建本　芳枝	Tatemoto Yoshie	うきは市吉井町
32		田中　恵子	Tanaka Keiko	
33		辻　タテヤマ　八千恵	Tsuji Tateyama Yachie	三井郡大刀洗町
34		土田　ちづ子	Tsutida Chisuko	嘉穂郡
35		靏我　敬子	Tsuruga Keiko	田川郡赤村
36		ツルガ　マサノリ	Tsuruga Masanori	
37		松尾　清子	Matsuo Kiyoko	
38		中村　みち子	Nakamura Michiko	
39		中村　久江	Nakamura Hisae	
40		西尾　冴子	Nishio Saeko	北九州市小倉
41		西尾　勝典	Nishio Katsunori	北九州市小倉
42		林　まどか	Hayashi Madoka	遠賀郡芦屋町
43		城崎　ケンジ　ルベンス	Hirosaki Kenji Rubens	久留米市
44		南　久美子	Minami Kumiko	大牟田市

45		南　ビビアン　千秋	Minami Vivian Tiaki	
46		メネガッチ　アマリルダ　ツチダ	Menegati Amarilda Tsutida	
47		メネガッチ　カルロス　アルベルト	Menegati Carlos Alberto	

〈トメアスー福岡県人会／ Tome-Acu〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	加藤　広行	Kato Hiroyuki	みやま市山川町
2		稲田　明　アウミー	Inada Akira Almir	

〈トロント福岡県人会／ Toronto〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	冨永　季徳	Tominaga Suenori	糟屋郡新宮町
2	役員	福間　美香	Fukuma Mika	
3	理事	合戸　伸冶	Godo Shinya	
4	会計	川原　昭次	Kawahara Shoji	八女市黒木町
5		合戸　真寿美	Godo Masumi	
6		冨永　夏代	Tominaga Natsuyo	糟屋郡新宮町
7		冨永　花	Tominaga Hana	糟屋郡新宮町

〈バンクーバー福岡県人会／ Vancouver〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長代理	ゴード　フレデリコ	Gordo Frederico	糸島市
2		イソノ　ノリエ	Isono Norie	
3		名久井　彩伽	Nakui Ayaka	
4		樋口　歌代子	Higuchi Kayoko	福岡市

〈香港福岡県人会／ Hong Kong〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	清水　円輝	Shimizu Enki	北九州市

〈在上海福岡県人会／ Shanghai〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	谷本　武司	Tanimoto Takeji	行橋市

〈コロンビア福岡県人会／ Colombia〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	坂本　昌子	Sakamoto Masako	朝倉市
2	監査役	志波　明美	Shiwa Akemi	久留米市
3		菊竹　久美子	Kikutake Kumiko	久留米市
4		菊竹　輝幸	Kikutake Teruyuki	久留米市
5		志波　里香	Shiwa Rika	久留米市

〈デリー福岡県人会／ Delhi〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	廣政　俊一郎	Hiromasa Shunichiro	福岡市

〈在マレーシア福岡県人会／ Malaysia〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	藤木　正聰	Fujiki Masatoshi	大牟田市

〈メキシコ福岡県人会／ Mexico〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	平田　フランシスコ	Hirata Francisco	三井郡大刀洗町
2	相談役	飯田　利明	Iida Toshiaki	久留米市
3	相談役	飯田　博見	Iida Hiromi	久留米市
4	特別会計	行徳　メルセデス	Gyotoku Mercedes	久留米市
5	特別会計	寺本　飯田　美千子	Teramoto Iida Michiko	久留米市
6	理事	寺本　飯田　英樹	Teramoto Iida Hideki	久留米市
7	書記	飯田　幸子	Iida Sachiko	久留米市
8		飯田　千代子	Iida Chiyoko	久留米市
9		太田　敏子	Ohta Toshiko	
10		コンスエロ　フランコ　アビレス	Consuelo Franco Aviles	
11		寺本　アルベルト	Teramoto Alberto	
12		三宅　悦子	Miyake Etsuko	
13		吉開　邦夫	Yoshikai Kunio	久留米市
14		吉開　アマドール　さくら	Yoshikai Amador Sakura	久留米市
15		吉開　アマドール　オルガ	Yoshikai Amador Olga	久留米市
16		吉開　アマドール　はるこ	Yoshikai Amador Haruko	久留米市
17		吉開　アマドール　リリア	Yoshikai Amador Lilia	久留米市
18		吉開　アマドール　ダニエル	Yoshikai Amador Daniel	久留米市
19		吉開　佳道	Yoshikai Yoshimichi	久留米市
20		吉開　順一	Yoshikai Junichi	久留米市

〈パラグアイ福岡県人会／ Paraguay〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	熊谷　満	Kumagai Mitsuru	朝倉市杷木町
2		熊谷　奈美	Kumagai Nami	
3		熊谷　美絵子	Kumagai Mieko	八女市上陽町

〈ペルー福岡クラブ／ Peru〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長代理	ヒラカワ　カツミ	Hirakawa Katsumi	福岡市
2		ヒラカワ　ケイコ	Hirakawa Keiko	福岡市
3		梅﨑　ファビオ	Umesaki Fabio	福岡市
4		梅﨑　セシリア	Umesaki Cecilia	福岡市
5		コミヤ　タカアキ	Komiya Takaaki	福岡市
6		シラカワ　ヨウコ	Shirakawa Yoko	
7		ヒガ　クレメンテ	Higa Clemente	福岡市
8		樋口　ジュリアナ	Higuchi Giuliana	
9		ハシモト　ルシラ	Hashimoto Lucila	福岡市
10		ヒラカワ　エミコ	Hirakawa Emiko	
11		ヒラカワ　ユキオ	Hirakawa Yukio	福岡市
12		ヤマシロ　ナオミ	Yamashiro Naomi	福岡市

〈ソウル博多会／ Seoul〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	梅林　富士夫	Umebayashi Fujio	鞍手郡小竹町
2		梅林　庸子	Umebayashi Yoko	田川市

〈台湾福岡県人会「梅友会」／ Taiwan〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	代表世話役	吉岡　生信	Yoshioka Ikunobu	北九州市

〈タイ国福岡県人会／ Thailand〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	岡本　貞明	Okamoto Sadaaki	糸島市
2	幹事	川越　信一郎	Kawagoe Shinichiro	北九州市
3	幹事	貞方　泰徳	Sadakata Yasunori	
4	幹事	宮崎　真吉	Miyazaki Masayoshi	糸島市
5	幹事	森山　泰行	Moriyama Yasuyuki	

〈ハワイ福岡県人会／ Hawaii〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	セキヤ　レイモンド	Sekiya Raymond	朝倉郡
2	元会長	コバヤシ　バートランド	Kobayashi Bertrand	嘉麻市
3	副会長	作田　キース	Sakuda Keith	
4	会計補佐	セキヤ　ベッツィー　チサコ	Sekiya Betsy Chisako	八女市
5	名誉会員	アリヨシ　ジョージ	Ariyoshi George	豊前市
6	名誉会員	アリヨシ　ジェーン	Ariyoshi Jean	
7	会計	ノムラ　マイルズ	Nomura Myles	久留米市
8		浴本　薫	Ekimoto Kaoru	福岡市西区
9		クゲ　ジェーン　ミツコ	Kuge Jean Mitsuko	北九州市門司区
10		クゲ　ジョン　シュンジ	Kuge John Shunji	北九州市門司区
11		小林　達吉	Kobayashi Tatsukichi	
12		セキヤ　メイブル　サチコ	Sekiya Mabel Sachiko	朝倉郡
13		ナカムラ　エヴリン　ハツエ	Nakamura Evelyn Hatsue	朝倉市
14		野中　篤子	Nonaka Atsuko	福岡市博多区
15		フジイ　ジェニー	Fujii Jeannie	朝倉市
16		ブローカーズ　カリアンヌ	Breukers Carianne	朝倉郡
17		ブローカーズ　ロバート	Breukers Robert	
18		松本　忠雄	Matsumoto Tadao	
19		松本　眞美	Matsumoto Naomi	行橋市
20		ミヤハラ　クォック　マユミ	Miyahara Kwok Mayumi	福岡市
21		矢島　レニー　さえ	Yajima Lenny Sae	朝倉郡
22		ヤマサキ　テレサ	Yamasaki Teresa	北九州市門司区
23		ヤマサキ　レイモンド　ノボル	Yamasaki Raymond Noboru	北九州市門司区
24		リー　カレン　チヨミ	Lee Karen Chiyomi	朝倉郡
25		リー　クレイトン	Lee Clayton	
26		ワダ　エレイン　ハルミ	Wada Elaine Harumi	北九州市門司区
27		ワダ　トーマス　カツジ	Wada Thomas Katsuji	

〈ハワイ島福岡県人会／ Hawaii shima〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	クック　ヴォーン	Cook Vaughn	京都郡苅田町
2	副会長	ウエノ　ハロルド　イワオ	Uyeno Harold Iwao	うきは市
3	理事	カク　ゲイリー	Kaku Gary	北九州市
4	理事	高崎　春雄	Takasaki Haruo	朝倉市
5	理事	中津　武	Nakatsu Takeshi	

6	理事	能丸　淳一	Noumaru Junichi	北九州市
7	理事	藤山　スタンリー	Fujiyama Stanley	糸島市
8	日本語書記	高崎　光子	Takasaki Mitsuko	小郡市
9	英語書記	藤山　ジュディス	Fujiyama Judith	
10		アイハラ　エミコ	Aihara Emiko	
11		イワサキ　ケリー　カオリ	Iwasaki Kellie Kaori	
12		ウエノ　ジェーン　フミコ	Uyeno Jane Fumiko	うきは市
13		カク　アール	Kaku Earl	北九州市
14		カク　ゲイル	Kaku Gail	
15		カク　シンシア	Kaku Cynthia	北九州市
16		カワサカ　ウィルマ	Kawasaka Wilma	
17		黒山　百合子	Kuroyama Yuriko	
18		黒山　ゲイリー	Kuroyama Gary	
19		中津　美佐子	Nakatsu Misako	小郡市
20		ヤストミ　ケネス	Yasutomi Kenneth	
21		ヤストミ　アン	Yasutomi Ann	

〈カウアイ福岡県人会／ Kauai〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	イノウエ　ノーマン	Inoue Norman	三井郡
2		橋坂　健　リード	Hashisaka Ken Reid	朝倉郡筑前町
3		橋坂　マリリーン	Hashisaka Marilyn	朝倉郡筑前町
4		ウエムラ　ジェームス	Uemura James	筑紫郡
5		田部　豊子	Tabe Toyoko	福岡市
6		原口　浅子	Haraguchi Asako	福岡市
7		東　正子	Higashi Masako	福岡市

〈コナ福岡県人会／ Kona〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長代理	シロタ　スーザン　ウタコ	Shirota Susan Utako	築上郡築上町
2	会計	カネコ　ギルバート　シュンゴ	Kaneko Gilbert Shungo	三井郡
3		イワモト　プリーザンス　アケミ	Iwamoto Pleasence Akemi	
4		カネコ　ミルドレッド　カズコ	Kaneko Mildred Kazuko	三井郡
5		ニシオカ　オーウェン　ミツジ	Nishioka Owen Mitsuji	
6		ミゾシリ　フランク　マサル	Mizoshiri Frank Masaru	八女市

〈南加福岡県人会／ Nanka〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	宗　伸之	Soh Nobuyuki	福岡市
2	青壮年会会長	大塚　佳之介	Otsuka Keinosuke	田川郡川崎町
3	顧問	大谷　明義	Otani Akiyoshi	飯塚市
4	顧問	竹内　徳康	Takeuchi Tokuyasu	鞍手郡小竹町
5	顧問･会計補佐	井上　英一	Inouye Eiichi	八女市
6	会計	内山　鍈子	Uchiyama Eiko	うきは市
7	理事	遠藤　晃一	Endo Koichi	
8	青壮年会役員	長田　恵子	Osada Keiko	
9		井上　忍	Inouye Shinobu	八女市
10		上野　美智子	Ueno Michiko	久留米市
11		尾崎　恒子	Osaki Tsuneko	うきは市
12		小山　佐恵子	Oyama Saeko	八女市
13		加嶋　喜美江	Kashima Kimie	北九州市
14		国武　アキエ	Kunitake Akie	
15		竹内　清子	Takeuchi Kiyoko	
16		田島　喜八郎	Tajima Kihachiro	八女市
17		中村　由美子	Nakamura Yumiko	
18		馬場　友美	Baba Tomomi	
19		堀　隆幸	Hori Takayuki	福岡市
20		松岡　みな子	Matsuoka Minako	行橋市
21		宮﨑　正義	Miyazaki Masayoshi	糸島市二丈町
22		宮里　勝吉	Miyazato Katsuyoshi	大牟田市
23		安武　喜美代	Yasutake Kimiyo	福岡市
24		安武　睦夫	Yasutake Mutsuo	朝倉市三奈木

〈サンフランシスコ福岡県人会／ San Francisco〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	石井　素直	Ishii Sunao	福岡市
2	顧問	綾部　栄治	Ayabe Eiji	うきは市
3	顧問	松岡　孝	Matsuoka Takashi	飯塚市
4		石井　晴子	Ishii Haruko	
5		坂田　亜紀	Sakata Aki	久留米市
6		柴田　美智子	Shibata Michiko	
7		シーブ　黒井　潮子	Seab Kuroi Shioko	
8		シュルト　椎葉　美代子	Schuldt Shiiba Miyoko	糟屋郡新宮町

9		バジフダー　真紀子	Vazifdar Makiko	飯塚市
10		バルデス　登也子	Valdez Toyako	
11		ブロマイヤー　みちえ	Blomeyer Michie	
12		吉井　蓉子	Yoshii Yoko	

〈シアトル・タコマ福岡県人会／Seattle-Tacoma〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	会長	玉井　純夫	Tamai Sumio	八女市
2	副会長	末次　乗治	Suetsugu George	久留米市
3	副会長	ティーセン　信子	Thiesen Nobuko	北九州市
4	秘書	フォレスター　ツチノ	Forrester Tsuchino	春日市
5	役員	大城　清子	Oshiro Kiyoko	八女市上陽町
6		クラフト　ヨネ子	Kraft Yoneko	
7		末次　眞由美	Suetsugu Mayumi	
8		西田　経太郎	Nishida Tsunetaro	
9		フォレスター　マイケル	Forrester Micheal	
10		ベネット　マリエ	Bennett Marie	福岡市

〈ハノイばってん会／Hanoi〉

NO.	役職	氏名		出身地
1	幹事	簑田　武	Minoda Takeshi	北九州市
2		小松　崇将	Komatsu Takamasa	京都郡みやこ町

福岡県移住者子弟留学生（県費留学生）

NO.	役職	氏名		県人会名
1		細江　タニア　絵美	Hosoe Tania Emi	ブラジル
2		松延　理恵	Matunobu Lie	ブラジル
3		上田　上村　ゆきこ　ブルナ	Ueda Uemura Yukiko Bruna	ブラジル
4		横尾　ロナルド　謙児	Yokoo Ronald Kenji	ブラジル
5		ヨシカイ　ベニテス　ディエゴ　アロンソ	Yoshikay Benitez Diego Alonso	ペルー
6		徳永　直人	Tokunaga Naoto	在ボリビア
7		湯浅　ファクンド	Yuasa Facundo	アルゼンチン
8		金川　龍介	Kanagawa Ryusuke	南加

（順不同）

※役職、氏名、出身地は、ご本人の申請にもとづき作成しております。

実行委員会

第8回 海外福岡県人会世界大会実行委員会

委員会役職	団体名	職名	氏名
会　　長	福岡県	知事	小川　洋
顧　　問	福岡県議会	議長	松尾　統章
（前顧問	福岡県議会	前議長	松本　國寛）
副会長	福岡県議会	前副議長	新村　雅彦
副会長	福岡県商工会議所連合会	会長	末吉　紀雄
委員長	（公財）福岡県国際交流センター	理事長	新宮　松比古
監　　事	（独）国際協力機構九州国際センター	所長	勝田　幸秀
監　　事	（独）日本貿易振興機構福岡貿易情報センター	所長	野村　邦宏
（前監事	（独）日本貿易振興機構福岡貿易情報センター	前所長	荒畑　稔）
委　　員	福岡県市長会	会長	北橋　健治
	福岡県町村会	会長	南里　辰己
	福岡県商工会連合会	会長	城戸　津紀雄
	（公社）福岡県観光連盟	会長	明石　博義
	福岡カナダ協会	会長	鎌田　迪貞
	福岡日米協会	会長	長尾　亜夫
	福岡県海外移住家族会	会長	武藤　英治
	福岡県ブラジル派遣農業実習生 赤い大地の会	代表	古賀　均
	ＮＰＯ法人ティエンポ・イベロアメリカーノ	理事長	サンティアゴ・エレーラ
	レスブリッジ福岡県人会	会長	中村　和郎
	トロント福岡県人会	会長	冨永　季徳
	バンクーバー福岡県人会	会長	清田　勝
	南加福岡県人会	会長	宗　伸之
	サンフランシスコ福岡県人会	会長	石井　素直
	シアトル・タコマ福岡県人会	会長	玉井　純夫
	湾東福岡県人会	会長	藤井　琢磨
	ハワイ福岡県人会	会長	セキヤ　レイモンド
	ハワイ島福岡県人会	会長	クック　ヴォーン
	カウアイ福岡県人会	会長	イノウエ　ノーマン
	コナ福岡県人会	会長	ヒラタ　ジェリー
	メキシコ福岡県人会	会長	平田　フランシスコ
	コロンビア福岡県人会	会長	坂本　昌子
	ペルー福岡クラブ	会長	大内田　アルマンド
	ベレン福岡県人会	会長	小野　重善
	ブラジル福岡県人会	会長	南　アゴスチンニョ　俊男
	マナウス福岡県人会	会長	大塚　拓男
	トメアスー福岡県人会	会長	加藤　広行
	在ボリビア福岡県人会	会長	松本　宏治
	パラグアイ福岡県人会	会長	熊谷　満
	アルゼンチン福岡県人会	会長	津留　アントニオ

第８回海外福岡県人会世界大会準備委員会

（平成 24 年度開催。組織名・肩書は当時のもの）

準備委員会役職	団体名	職名	氏名
委 員 長	福岡県	副知事	海老井　悦子
副委員長	福岡県議会	副議長	新村　雅彦
委　　員	福岡県新社会推進部	部長	長谷川　英祐
〃	(独)国際協力機構九州国際センター	所長	村岡　敬一
〃	(財)福岡県国際交流センター	専務理事	田中　俊太
〃	福岡県商工会議所連合会	専務理事	中村　仁彦

第８回海外福岡県人会世界大会実行委員会幹事会

幹事会役職	団体名	職名	氏名
幹 事 長	福岡県国際交流局	局長	猿渡　稔
副幹事長	(公財)福岡県国際交流センター	専務理事	田中　俊太
幹　　事	(独)国際協力機構九州国際センター市民参加協力課	課長	田中　宏幸
〃	福岡県私学振興課	課長	大久保　一衛
〃	福岡県青少年課	課長	伊東　望
〃	福岡県国際経済観光課	課長	武濤　研二郎
〃	福岡県議会事務局	次長兼総務課長	高島　光
〃	福岡県教育庁高校教育課	課長	米原　泰裕
〃	福岡県町村会	総務課長	波多野　賢
〃	福岡県商工会議所連合会商工振興本部	国際部長	西岡　潤史
〃	（公社）福岡県観光連盟	事務局長	井上　耕作

協　　賛

北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、小郡市、大野城市、宗像市、太宰府市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、久山町、粕屋町、小竹町、鞍手町、桂川町、筑前町、大刀洗町、大木町、香春町、川崎町、大任町、赤村、福智町、みやこ町、上毛町、(公財) 九州大学学術研究都市推進機構、㈱一優亭、クロボー製菓㈱、㈱千鳥饅頭総本舗、㈱東雲堂、㈲二鶴堂、㈱八ちゃん堂、㈱マルタイ、㈱明月堂、㈱山口油屋福太郎、久留米ちゃんぽんシンジケート、筑後うどん振興会（順不同）

後　　援

外務省、(公財) 海外日系人協会、(独) 国際交流基金、(独) 国際協力機構、(独) 日本貿易振興機構、アルゼンチン共和国大使館、ボリビア多民族国大使館、ブラジル連邦共和国大使館、カナダ大使館、コロンビア共和国大使館、インドネシア共和国大使館、マレーシア大使館、メキシコ合衆国大使館、パラグアイ共和国大使館、ペルー共和国大使館、タイ王国大使館、在福岡米国領事館、在福岡大韓民国総領事館、在福岡中華人民共和国総領事館、在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館、福岡県教育委員会、福岡県市議会議長会、福岡県町村議会議長会、朝日新聞社、産経新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、ＲＫＢ毎日放送、ＮＨＫ福岡放送局、ＦＢＳ福岡放送、九州朝日放送、ＴＶＱ九州放送、テレビ西日本（順不同）

ルーツは福岡 夢は世界へ
～未来につなごう 福岡の絆～

第８回 海外福岡県人会世界大会
報告書

発　行　2014年（平成26年）2月
発行者　第８回 海外福岡県人会世界大会
実行委員会
〒810-0001
福岡県福岡市中央区天神 1-1-1
アクロス福岡８階
（公財）福岡県国際交流センター
TEL：092-725-9204